

会 議 記 録

会議名 決算特別委員会建設分科会

開催日 令和元年9月12日(木) 開会 午前10時50分

閉会 午前11時18分

出席者 委 員 分科会長 青 木 一 男

森 戸 雅 孝 大 谷 好 一 小久保 かおる

氏 家 晃 千 葉 正 弘 中 島 克 訓

議 長 大阿久 岩 人

傍 聴 者 浅 野 貴 之 川 上 均 古 沢 ちい子

坂 東 一 敏 茂 呂 健 市 内 海 まさかず

針 谷 育 造 入 野 登志子 白 石 幹 男

福 富 善 明 関 口 孫一郎 針 谷 正 夫

小 堀 良 江 福 田 裕 司

事務局職員 事務局長 神 永 和 俊 議事課長 癸生川 亘

主 査 藤 澤 恭 之 主 査 岩 川 成 生

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

建設部長	國保能克
都市整備部長	戸田崇
上下水道局長	田中修
道路河川整備課長	河田正雄
道路河川維持課長	深津悟
土木管理課長	芳野英明
公園緑地課長	菊池照見
都市計画課長	高野義宏
市街地整備課長	石塚昌平
住宅課長	加茂浩史
建築課長	柿沼宏和
企業経営課長	出井均
水道建設課長	渡辺精一
下水道建設課長	大森克美

令和元年第4回栃木市議会定例会
決算特別委員会建設分科会議事日程

令和元年9月12日 建設常任委員会終了後 全員協議会室

日程第1 認定第1号 平成30年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について（所管関係部分）

日程第2 認定第7号 平成30年度栃木市水道事業会計歳入歳出決算の認定について

日程第3 認定第8号 平成30年度栃木市下水道事業会計歳入歳出決算の認定について

◎開会及び開議の宣告

○分科会長（青木一男君） ただいまの出席委員は7名で、定足数に達しております。

ただいまから決算特別委員会建設分科会を開会いたします。

（午前10時50分）

◎諸報告

○分科会長（青木一男君） 当分科会に送付されました案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

◎議事日程の報告

○分科会長（青木一男君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎認定第1号の上程、質疑

○分科会長（青木一男君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、認定第1号 平成30年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定についての所管関係部分を議題といたします。

なお、本決算に対する説明は8月30日に開催された決算特別委員会全体会及び各分科会説明表の送付をもって済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については9月26日木曜日に開催される全体会において実施しますので、よろしく願いいたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。審査の順序につきましては、まず歳出各款ごとの質疑、次に歳入を一括した質疑の順序により進めたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

なお、執行部の答弁に際し、質問の内容によりましては担当部長等にご答弁いただくこともありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

まず、歳出各款ごとの質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

2款総務費中、所管関係部分の質疑に入ります。決算書は185ページから197ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようですので、次に移ります。

4 款衛生費の質疑に入ります。決算書は245ページから249ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようですので、次に移ります。

8 款土木費中、所管関係部分の質疑に入ります。決算書は283ページから305ページです。

中島委員。

○委員（中島克訓君） お願いします。287ページ、その中段にあるのですが、生活道路舗装補修工事費1億9,900万円からなのですが、これ毎年予算計上されていますが、決算では何路線、どのくらいの距離を舗装補修されたのか、お願いします。

○分科会長（青木一男君） 深津道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（深津 悟君） お答えいたします。

全部で32カ所です。延長につきまして9,899.9、約10キロになります。

以上でございます。

○分科会長（青木一男君） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 293ページの一番上の市道22024号線道路改良事業費、設計業委託料とありますけれども、今年度の進捗状況をお教え願えますでしょうか。

○分科会長（青木一男君） 河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） まず、平成30年度につきましては設計を行いまして、20.9%の進捗となっております、今年度につきましては……済みませんです。今年度についてはちょっと休止の状況でございます。

以上でございます。

○分科会長（青木一男君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） ふれあいトークの要望でも出ていた場所ですので、要望としてよろしく願います。

○分科会長（青木一男君） 要望ですね。

○委員（小久保かおる君） はい。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） 済みません。先ほどの質問でちょっと質問忘れましたので、ちょっとまた補足の質問をしたいと思います。

287ページの生活道路舗装補修事業なのですけれども、その件で平成30年度、どのくらいの申し

込みがあったか。それで、できなかった、次年度へ繰り越してしまった件数とかがあると思うのですけれども、どのくらいできたのか、残ったのがどのくらいだったのか、お願いいたします。

○分科会長（青木一男君） 答えられますか。

深津課長。

○道路河川維持課長（深津 悟君） 要望の申し込み件数についてご説明いたします。

現在の状況で、全体で62件の要望書をいただいております。実施箇所につきましては20カ所になります。今のところ3割程度の状況でございます。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） 予算でもう決められていますから、なかなかあれなのですが、これは優先順位とか、やはり見てひどいところとか、かなり使用頻度が高いところから、そういうふうなランクをつけて舗装をやっていらっしゃるのかどうか、お願いいたします。

○分科会長（青木一男君） 深津課長。

○道路河川維持課長（深津 悟君） 要望もちょっと多いところから、要望書も精査しておりますが、なるべく生活道路ということで、まず前提は未舗装というところがまず大前提かと思えます。その後は生活している方々の状況とか、通学路であったとか、状況を判断してうちのほうで決めさせていただいている状況でございます。あと、要望等とか、あとふれあいトークとかありますので、その辺も踏まえて判断しているところでございます。

○分科会長（青木一男君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 305ページのあったか住まいるバンク事業費についてなのですけれども、先ほど氏家委員が質問したのとかがぶってしまったら申しわけありません。空き家バンク補助金は空き家の所有者に対する補助金ですけれども、昨年行われましたDIYはものすごく好評だとお聞きいたしました。借りる人への補助金は、この中に入っているのでしょうか、お伺いいたします。

○分科会長（青木一男君） 加茂住宅課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 借りる方というのは、住宅を賃貸する方ですね。

空き家バンクリフォーム補助金のリフォーム補助につきましては、住宅を購入した後、購入者が自分の使いたいようにというか、自分仕様にリフォームをするための補助金ですので、賃貸は対象にはなっていないと思います。ごめんなさい、済みません。ちょっとそこは確認させていただいてよろしいですか。申しわけありません。

○分科会長（青木一男君） 後でということでもよろしいですか。

小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 済みません。昨年度行われましたDIYは、これからもお続けになるお

考えはありますでしょうか。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 昨年度行いましたD I Y事業につきましては、国のモデル事業ということで採択をされまして、10分の10の補助をいただいて無事使用させていただきました。大変好評なため、今年度補助はいただけないのですけれども、単費として予算を計上させていただいています。それはD I Yの場所を協力していただけるようなお宅をちょっと探さないといけないということもありまして、去年参加した方からも今年はないのというお話もいただいていますので、我々としてはそういう相談、リフォーム等の相談があったときに、例えばリフォームの場として提供していただけますかというような相談をさせていただきながら、もしその場が提供していただけるのであれば、単費のほうで行いたいというふうには思っております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

千葉委員。

○委員（千葉正弘君） 305ページなのですけれども、市営住宅共通管理費の中の不動産賃借料ということで6,200万何がしということになるのですけれども、なかなかこの賃借料が多いのだけども、減らすべきではないかという考え方を持っているのですけれども、この辺が今後減っていく見通しというのはどうなのでしょう。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 賃借料につきましては、3年に1度見直しを行いまして、土地所有者の方にご相談をさせていただいております。今年度から3年分につきましては、昨年度中に交渉をさせていただきまして、若干下げさせていただきました。単純に差額からいいますと、前年度分と今年度分の差額で総額260万ちょっとの減額はさせていただきましたが、今後も土地の状況を鑑みて、土地所有者とは粘り強く交渉して、3年に1度の交渉の際にはなるべく減額をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 千葉委員。

○委員（千葉正弘君） ぜひご努力をお願いいたします。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） 今、千葉委員のほうからも質問がありました市営住宅のことについてお聞きします。同じところなのですけれども、現在市営住宅は入居可能な部屋の数、それと現在入居している数と空き室を説明願いたいと思います。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 現在市営住宅の管理戸数は、全部で市営住宅が838、特定公共賃貸住宅が30、改良住宅が19ということになっております。現在市営住宅につきましては671戸が入っております、約80%の入居率。特定公共賃貸住宅につきましては11戸の入居で、36.7%の入居率。改良住宅につきましては17戸の入居数で、約89.5%の入居率というふうになっております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 千葉委員。

○委員（千葉正弘君） 同じページになりますけれども、下のほうに片柳市営住宅解体事業費ということで8,400万円強の金額ということになりますけれども、これはこの事業を行った業者数というのは何業者になるのでしょうか。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 申しわけございません。確認させていただいて、後でご報告させていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○分科会長（青木一男君） 千葉委員。

○委員（千葉正弘君） 壊すのも結構お金がかかるなという感覚を持っているのですけれども、これは適正な価格だったというふうにお考えでしょうか。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 解体工事につきましては、今回この工事につきましては県事業も絡んでおりまして、歳入のほうで片柳市営住宅解体補償費等ということで、県のほうからほぼ満額の補助をいただいております。適正かどうかということにつきましては、県のほうとも連携をして進めているところでございますので、適正であるというふうには考えております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） ほかに質疑はありませんか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 済みません。同じ305ページなのですけれども、これは主要事業説明書の中でも報告いただいているのですけれども、その中で定住促進支援事業費。これについてですけれども、まちなか定住で406件という件数が補助を受けているわけなのですけれども、この定住に当たっては市内から市内、市外から市内という方がいらっしゃるかと思うのですけれども、その件数をお示しいただければと思います。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） まちなか定住の補助金につきましては、市外から来られる方に対しては移住補助金ということで、昨年度は128件ほど、市内住みかえのほうにつきましては278件というふうになっております。

以上です。

○副分科会長（森戸雅孝君） 了解です。

○分科会長（青木一男君） よろしいですか。

ほかに質疑ありませんか。よろしいですか。

よろしいですね。

ないようですので、以上で歳出各款ごとの質疑を終わります。

続いて、歳入の所管関係部分を一括した質疑に入ります。歳入につきましては、79ページから161ページです。

質疑はありませんか。

中島委員。マイクお願いします。

○委員（中島克訓君） ごめんなさい。81ページの市営住宅関係なのですが、そこで中段よりちょっと上に市営住宅使用料滞納繰越分というのが金額162万5,500円ってなっています。それは何世帯分の合計なのかをお願いします。

○分科会長（青木一男君） 大丈夫ですか。

加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 済みません、ちょっと世帯数確認させていただければと思います。申しわけありません、後で報告させていただきます。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） この滞納というのはちょっと余りよくないものですから、できるだけこれはなくさなくてはならないのですけれども、市内の不動産業者さんと管理のことで市のほうは提携をしていると思うのですけれども、その家賃のほうの集金とかそういうやつですか、それに関して市内の不動産業者さんのほうから滞納世帯とかそういったところにはアプローチとか集金に行くとか、そういうのはやっていたらいいのでしょうか、お願いします。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 現在一般社団法人宅建とちぎ公営住宅管理センターというところに指定管理者業務ということで委託をさせていただいております。その中の事務に、当然滞納整理に関することということで、滞納金の督促状であったり、あとは電話での督促、あとは市内を実際に回ってお会いしてお話をして集金をというようなことで、さまざまな収納事務を委託して、実際行っているところがございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） やはり真面目に払っている方がばかを見ないように、滞納世帯をできるだけ少なくしていただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたしたいと思います。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） では、今の関連なのですけれども、これ滞繰分で162万何がしが入ったと。まだ納められていない滞繰繰越分というのはどのくらいあるのか、お願いいたします。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 現在、市営住宅使用料の滞繰繰り越しの額が総額で……申しわけございません。ちょっと数字持っていないものですから、確認をして報告させていただきます。済みません。

○分科会長（青木一男君） 大丈夫ですか。

○住宅課長（加茂浩史君） 済みません、失礼しました。滞繰者が現在128名、滞繰額につきましては6,000万ちょっと現在ございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） 128名で6,000万ちょっとあって、昨年度は162万円納めていただいたということで、引き続きこの滞繰繰越分につきまして徴収に努めていっていただきたいと思います。よろしくをお願いします。要望です。

○分科会長（青木一男君） 要望ということで。

ほかに質疑はありませんか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 81ページの、まず1つのほうが学校関係で太陽光発電の屋根の貸出使用料ということで歳入に計上してあるのですけれども、これの……。

○分科会長（青木一男君） 所管外ですかね。

○副分科会長（森戸雅孝君） 所管外、大変失礼しました。

○分科会長（青木一男君） まだあります。

よろしいですか。

○副分科会長（森戸雅孝君） 済みません。その上の81ページで、市営住宅の駐車場の使用料ということで800万円からの計上ありますけれども、これは344台というふうに私のほうではちょっと認識しているのですけれども、これを単純にもう市営住宅によってその駐車場に格差はあるのですか。一律であれば、これ台数で割れば出るのかと思うのですけれども。

○分科会長（青木一男君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 市営住宅駐車場につきましては、一律2,700円というふうの使用料をさせていただきます。

○分科会長（青木一男君） ほかにありませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ここで、確認事項がありますので、よろしくお願ひいたします。

加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 先ほど片柳市営住宅の解体工事の件でございますけれども、一般競争入札で8者において入札をさせていただきまして、1者が落札いたしました。なので、工事自体は1者でとり行ったところでございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 千葉委員、よろしいですか。

○委員（千葉正弘君） はい。

○分科会長（青木一男君） それでは、ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

◎認定第7号の上程、質疑

○分科会長（青木一男君） 次に、日程第2、認定第7号 平成30年度栃木市水道事業会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案については、収入支出を一括して審査いたしたいと思ひます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法で、ページ数もお知らせ願ひます。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようでありますから、これをもって質疑を終了いたします。

◎認定第8号の上程、質疑

○分科会長（青木一男君） 次に、日程第3、認定第8号 平成30年度栃木市下水道事業会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案については、収入支出を一括して審査いたしたいと思ひます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法で、ページ数もお知らせ願います。

質疑はありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようでありますから、これをもって質疑を終了いたします。

◎閉会の宣告

○分科会長（青木一男君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会長報告の作成については、正副分科会長にご一任願います。

また、繰り返しになりますが、9月26日木曜日、午前10時から決算特別委員会全体会において分科会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしくお願いいたします。

これをもちまして決算特別委員会建設分科会を終了いたします。

大変ご苦労さまでした。

（午前11時18分）